

## 2 OJT 実践

### OJT キーワード

#### 校内研究 OJT

○ 年 2 回の校内授業研究会（9 教科）

- ・ 9 教科の代表者による一斉授業研究会を 2 回に分けて行う。
- ・ 教科の枠を超えたグループ編成により，全教職員が指導案検討会から授業検討会まで授業づくりに関わる。
- ・ グループ協議型の指導案検討会とワークショップ形式の授業検討会を実施。



校内授業研究会（保健体育）



校内授業研究会（技術・家庭）



ワークショップ形式の授業検討会



グループ毎に成果，課題，改善策を提示

○ 一人一授業提案（5月～12月）

- ・ 校内研究授業での授業提供者を除き、**全員が授業を公開**する。
- ・ 年度当初の教科部会で、教科毎に誰が、何月に、どの単元で授業するのかという一人一授業の年間計画を立てて、**計画的な実践**を進める。
- ・ 職員会議での進捗状況の確認と研究主任の声かけで全員授業を目指す。
- ・ 参観者の授業参観カードと管理職の指導助言による学び合い。



一人一授業公開

OJT キーワード

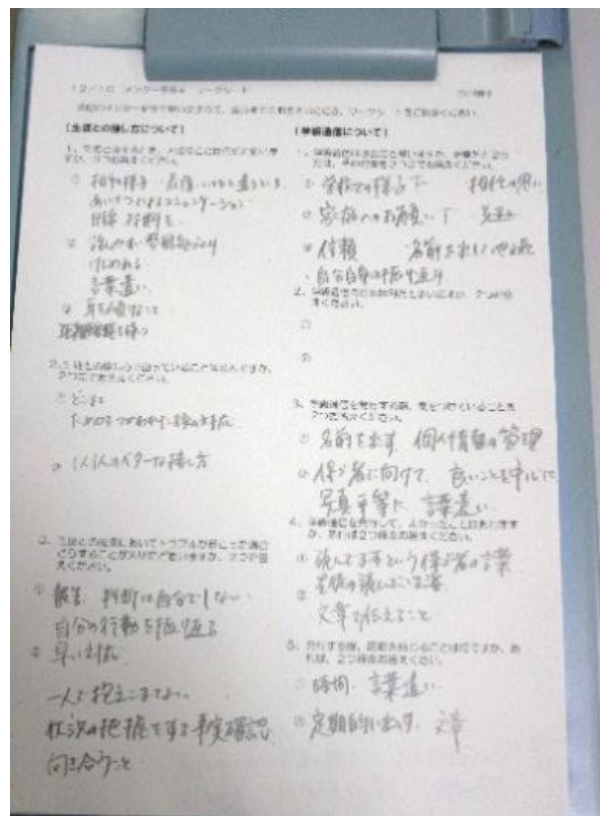
メンター研修 OJT

○ メンター研修会

- ・ 新採用～5年目くらいまでの教職員（メンティー）を対象とし、経験豊かな教員（メンター）が**今までに学んだことを若手教員に伝え、育てていく**。
- ・ 年間6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）実施。
- ・ テーマは、「合唱コンクールに向けて」「教育相談に向けて」など、**メンティーのニーズに合わせて設定している**。
- ・ 進め方の例
  - メンターからの話→
  - メンター・メンティーによる意見交換→
  - まとめ
- ・ 研修会后、振り返り用紙に「参考になったこと」「次回への要望」等を記入し、次の研修会へつなげる。



メンター研修会の様子



メンター研修会のワークシート

## 現職教育 OJT

- 校務を遂行する上で、全教職員が学ぶべき課題については悉皆研修を実施する。
  - ・ 7月 N I E 研修
  - ・ 8月 不登校・いじめ対策研修会 教育課程伝達講習会
  - ・ 9月 特別支援理解研修会
  - ・ 12月 健康管理講習会
- 伝達講習会（OFF JT を生かす OJT ）
  - ・ 毎週水曜日の打ち合わせ時を伝講の日とする。
  - ・ 各自が受講したセンター研修や外部での研修等のうち、全体に関するものについて紙面（A4一枚程度）を用いて、数分程度で伝講する。

## 職員会議に位置づけた OJT

- 会議を効率化することにより、毎月 OJT の時間を確保する。
  - ・ 校長によるコンプライアンス研修  
職員会議時にワークシート提示→次の日の朝の打ち合わせで回答例の提示
  - ・ 教頭によるコンプライアンス研修  
職員会議の後半で10分くらいのコンプライアンス研修
- 年度当初に行った方がよい悉皆研修は、職員会議後に時間を確保して行う。
  - ・ 4月：食物アレルギー対応研修（含エピペンの使用法）

## 日常の学び合い OJT

- 生徒指導の実践的解決の場で
  - ・ 終結まで学年全員で対応
  - ・ 処理の手順，連絡報告，対応，家庭訪問，記録等のプロセスの共有
- 行事の計画と運営の担当を経験させ、若手教員の育成